

サッカー大会の開催

in Nigeria

～ 誰もが夢を追いかける世界に ～



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当該資料で使用している文章、画像等の無断での複製・転載を禁止します。
「フセイニカスタム病院」は、「フセイニ病院」と略称で記載されている箇所もあります。



©Yokohama Sports & Culture Club.

© IWATE GRULLA MORIOKA

<https://www.youtube.com/watch?v=qeIwVEIQIrw&t=2s>

(2分3秒)

➤ ナイジェリア側

- ・ 女性の社会進出を促進
- ・ コミュニティーの結束と地域の活性
- ・ ジャパンドリームへの一歩（日本へスポーツ留学する可能性）
- ・ 病院主導による地域の病気予防の取り組み促進



<https://taiyofoundation.org/event/>

➤ 日本側

- ・ 社会貢献活動
- ・ ナイジェリア人アスリートによる日本スポーツ界の活性化
- ・ SDGsの実践

➤ SDGsへの取り組み (P.5 参照)

- ・ 子ども達はみんなサッカーが大好き。イスラム教徒が多いこの地域では、男の子たちが外に出てサッカーの練習をしている間、女の子たちは家の中でお母さんのお手伝いをしていることも多く、女の子にもっと活躍してもらおうというのがこのサッカー大会の目的のひとつでもある。



➤ **名称**

第1回 フセイニカスタム病院 × TAIYO Cup

➤ **主催・運営**

Husseini Custom Hospital (ジガワ州カザウレ)

Taiyo International財団 (FCTアブジャ)

TAIYO株式会社 (東京都文京区)



➤ **大会期間**

2021年10月第1週からリーグ戦開始

2021年10月23日(土) 女子決勝、男子決勝、男子3位決定戦、男子準決勝 2 試合

➤ **年齢制限と出場チーム数** (P.6参照)

女子：年齢制限なし (社会進出が主目的) 2チーム、 男子：U-15 12チーム

➤ **後援・認定・支給** (順不同・P.9参照)

一般社団法人A-GOAL、スポーツ・フォー・トゥモロー、茨城県ユニセフ協会
特定非営利活動法人 横浜スポーツアンドカルチャークラブ



➤ SDG s の取り組み紹介



自給自足への道筋

No.2 飢餓をゼロに https://www.unic.or.jp/files/Goal_02.pdf
コミュニティの結束がより強固になることで、養殖・生産・卸・販売・損保・農機具運転及びメンテナンスを組織化（組合の発足）し、自給自足しやすくする。
TAIYOグループのナマズ養殖を習得し、自給自足に踏み出す。



病気予防への取り組み

No.3 全ての人に健康と福祉を https://www.unic.or.jp/files/Goal_03.pdf
自分の体温を測定し続け、体調の変化を認識していくようにする。マラリアや感染症の早期発見、生理の周期、妊産婦の体調管理などに役立てる。



女子の社会進出のきっかけ

No.5 ジェンダー平等を実現しよう https://www.unic.or.jp/files/Goal_05.pdf
女子が大会に参加することにより、男子同様に家の外に出るきっかけをつくる。



パートナーシップの活性化

No.17 パートナースhipで目標を達成しよう https://www.unic.or.jp/files/Goal_17.pdf
サッカーをとおしてお互いの文化を知り、これからどのような協力ができるか目標を立てる。

男子予選 (12チーム)

グループリーグ戦ののち、
グループ上位4チームが決勝トーナメント進出

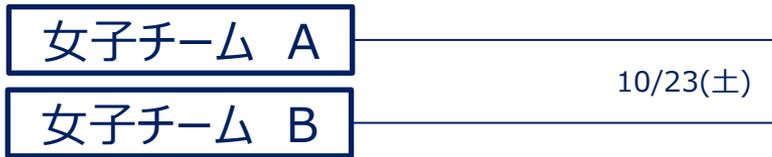
Group A

- 1. LIVERPOOL FC
- 2. COSMOS UNITED
- 3. NEW FANCY
- 4. GAOA UNITED
- 5. ZAKI FC
- 6. AS ROMA

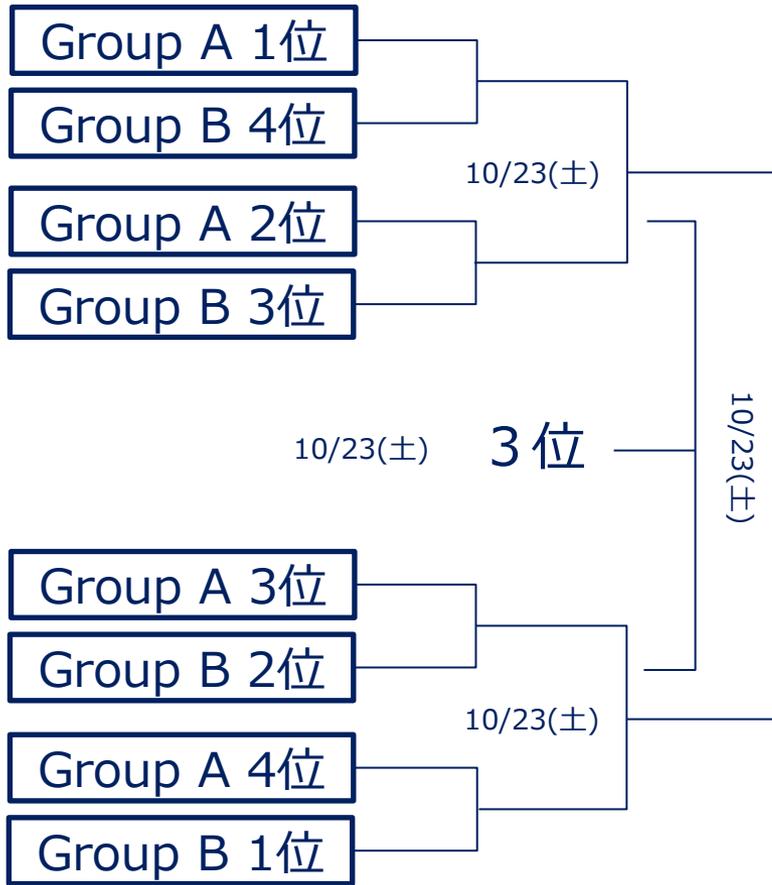
Group B

- 1. KANTI UNITED
- 2. NATIONAL STARS
- 3. WALI BOYS
- 4. MATTAWALLE BOYS
- 5. JUNIOR LIVERPOOL
- 6. VALENIA

女子決勝



男子決勝トーナメント



➤ 賞金

女子	優勝	¥170,000
	準優勝	¥80,000
男子	優勝	¥250,000
	準優勝	¥150,000
	3位	¥100,000

※ 年間所得 ¥1,500,000～ ¥1,800,000の家庭が全体の約75%
優勝賞金の額は、9%～16%に相当する額をチーム内で分配
当該大会に参加する選手のほとんどはこの層に属する



➤ 副賞（優勝チームのみ）

女子	お米	30kg
	インドミー	1箱
	食用油	1本
男子	お米	30kg
	インドミー	1箱
	食用油	1本

※ お米は一昨年より輸入禁止されており、毎月価格上昇しているとても高価な食べ物のひとつ



優勝旗

優勝旗授与後は、フセイカスタム病院1階ロビーに展示（次年度開会式で返還し、新たな優勝チームへ授与）



女子



男子

ご寄付者さま

ご寄付



茨城県ユニセフ協会



大会ボール支給

運営費補助

大会後援・LIVE配信

国際貢献事業
認定



TAIYO



第1回 Husseini Custom Hospital × TAIYO Cup 2021 共同主催



<https://www.youtube.com/watch?v=1lmvQeiV0n0&t=14s>

(2分24秒)



<https://www.youtube.com/watch?v=4Fy3IkvsU5M>

(2分30秒)

ナイジェリア北部地域の主要病院

- 所在地：ナイジェリア ジガワ州 カザウレ
- 経営者：カザウレファミリー（元駐日大使のご家族）

A-GOALとの連携

- 食糧支援（2週間分／家族）
- 生理用品支援



©Yokohama Sports & Culture Club.

TAIYOグループ出身 (TPSP生)

Y.S.C.C.横浜 (J3所属)

背番号 28

オニエ オゴチュクウ プロミス

<https://www.youtube.com/watch?v=YzvVNUX3yz4>

(45秒)



© IWATE GRULLA MORIOKA

TAIYOグループ出身 (TPSP生)

いわてグルージャ盛岡 (J3所属)

背番号 27

オタボー ケネス

https://www.youtube.com/watch?v=cBL_65_vIUU

(46秒)



応援メッセージ（ご出演順）

山崎拓巳さま

和田裕美さま

原邦雄さま

<https://www.youtube.com/watch?v=rRmtkbBFy6c>

（46秒）



大会広告映像（ショート版）

<https://www.youtube.com/watch?v=VBSjp1XO3Y4>

（1分7秒）

**本当に本当に
ありがとう**
本日開催
あなたの寄付が世界を変えた！
大会視聴方法はTAIYOイベントページから

決勝戦まであと
1日!
こんな時だからこそ、地球規模で繋がりたい
寄付とシェアを
どうぞよろしくお願いいたします！

世界中のお金持ちが実践している
夢を叶える方法
運がよいと口に出して言う
夢を楽しく想像する
募金をする!
2日

夢見ること
をあきらめない!
3日
寄付とシェアを、どうぞ
よろしくお願いいたします！

見た時がタイミング
4日
一歩踏み出し、一緒に動き出しましょう。

カウントダウン用

愛ってさ
わたしたちがワンネスだと気づいた
ときに、あふれてくるよね。
5日

あなたが輝く
時間です。
6日!

あなたの行動が
世界をかえる!
7日
寄付とシェアをどうぞ
よろしくお願いいたします！

私たちの当たり前が
当たり前でない世界がある。
8日
寄付とシェアのご協力をお願いします！

あなたの寄付が
世界を変える!
誰もが
夢を追いかけられる
世界に!
フセイニ病院
×
TAIYOカップ
ナイジェリア×日本
スポーツ国際交流
ナイジェリアの人々の健康と生活の
向上、女性の社会進出のために、
どうぞ協力お願いします！

TAIYO INTERNATIONAL
FOOTBALL
CUP
©Y.S.C.C.
QRコード

誰もが
夢を追いかけられる
世界に!
フセイニ病院×TAIYOカップ
ナイジェリア×日本 スポーツ国際交流
あなたの寄付が世界を変える!
ナイジェリアの人々の健康と生活の
向上、女性の社会進出のために、
どうぞ協力お願いします！
寄付はこちらから



茨城県ユニセフ協会



「第1回 フセイニ病院×TAIYO Cup」生中継

スポーツを通じた国際協力の現場をリアルタイムで訪れよう！

「スポーツを通じた国際協力 連続セミナー」第3弾

unicef  for every child



©Yokohama Sports & Culture Club.

日時：2021年10月24日(日) 15:00～16:30

実施方法：オンラインセミナー (Zoom) 定員：90名 どなたでも参加いただけます。参加費：無料

主催：茨城県ユニセフ協会

共催：A-GOAL

協力：Taiyo International財団・Y.S.C.C.・フセイニカスタム病院 (ナイジェリア)

中継予定：ナイジェリア 言語：英語・日本語

参加申し込み：<https://ws.formzu.net/fgen/S47580176/>



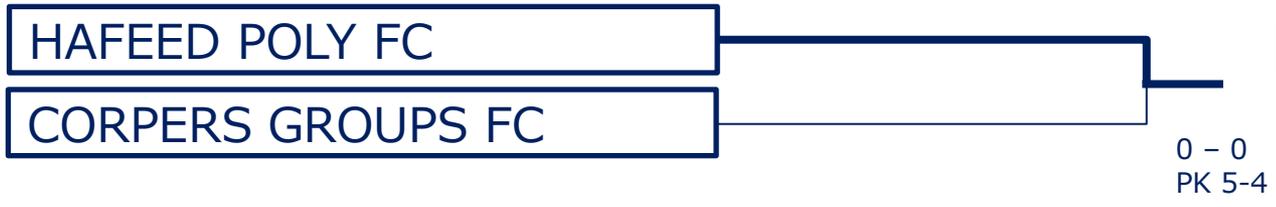
報告

～ 誰もが夢を追いかける世界に ～

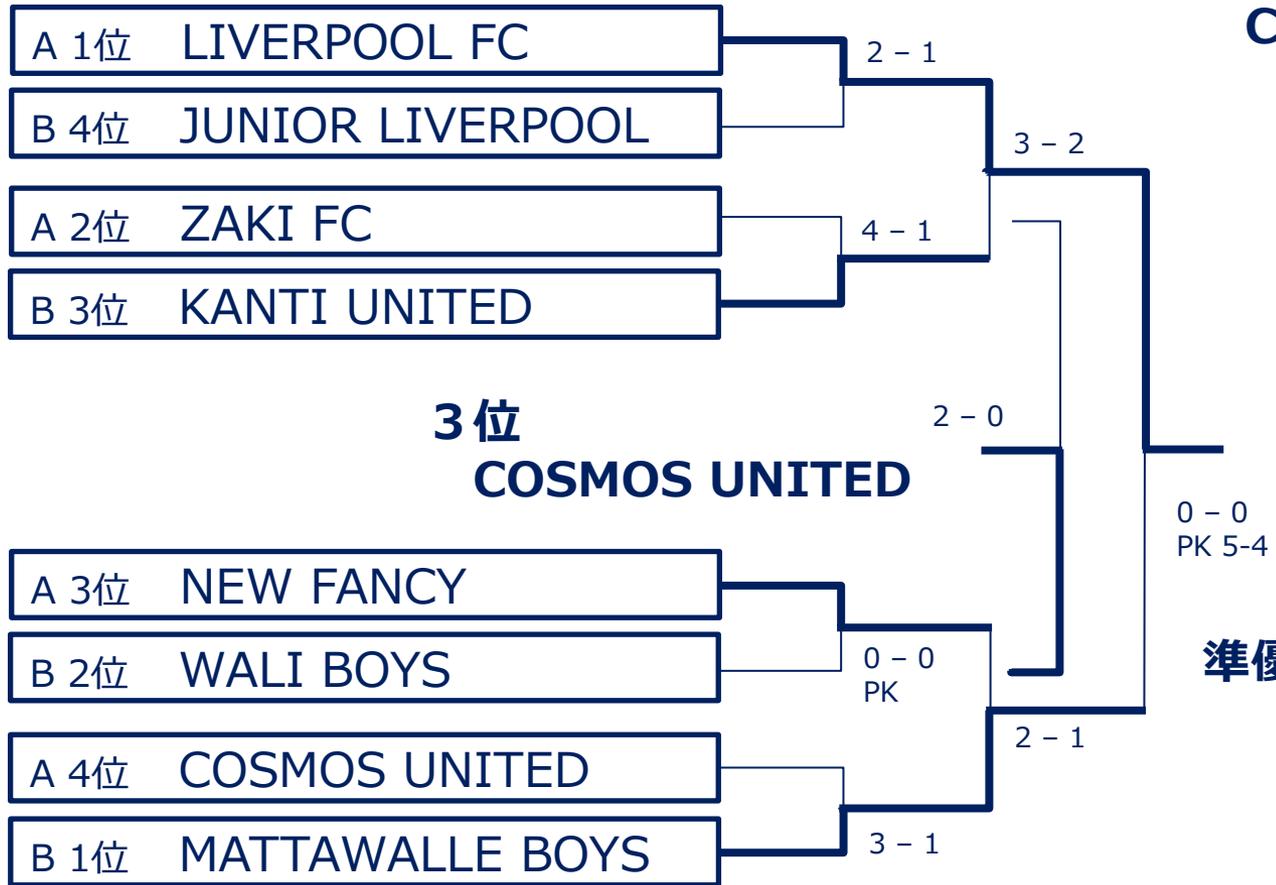
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



➤ 女子決勝



➤ 男子決勝トーナメント



準優勝
CORPERS GROUPS FC



準優勝
MATTAWALLE BOYS



<https://www.youtube.com/watch?v=Psj6PmzSkws>

(決勝戦前の女子控室 1分35秒)



<https://www.youtube.com/watch?v=WFsJ4OupcE>

(女子入場 36秒)



<https://www.youtube.com/watch?v=A3mL7kwsbnM>

(女子試合 & 観客席 1分15秒)



<https://www.youtube.com/watch?v=GmlM1jZWKHM>

(男子決勝戦 55秒)





unicef



茨城県ユニセフ協会



Facebookライブ：10月24日(日)実施

<https://web.facebook.com/unicef.ibaraki/videos/1256175574853676>

女子の優勝チーム（右から2人目3人目）と男子の優勝チームの代表者が、LIVE出演しました。
大会MC優子がひとりひとりにインタビューし、喜びを世界中に伝えました。



主催者「フセイニカスタム病院」のオーナー族であるフセイニ元駐日大使(最右)が首都アブジャより駆けつけ、LIVE出演くださいました。



主催者「フセイニカスタム病院」オーナー（左から3番目）とそのご家族が、LIVE出演くださいました。

TAIYO Facebookライブ：10月24日(日)実施

Vol.1

<https://web.facebook.com/TaiyoInternationalFoundation/videos/1072007533608787>

vol.2

<https://web.facebook.com/TaiyoInternationalFoundation/videos/406610830843324>

3. スタジアム使用料 10/1~23
23日間で39試合
¥148,400 ¥41,107

4. 審判費用 39試合
合計 ¥58,000
¥16,066

6. 大会ポロシャツ(関係者)
¥119,000 ¥32,963

5. セキュリティ 10/23・24
¥20,000×2日=¥40,000
¥5,557×2日=¥11,080

11. 関係者交通費
¥5,000×22名=¥110,000
¥1,385×22名=¥30,470

12. 寄贈品：フセイニカスタム病院
非接触型体温計1本
¥3,980 ¥14,368

13. 決済手数料
¥9,299 ¥33,570

1. サッカーボール4球(新品)
Y.S.C.C.及びA-GOALより寄贈
2. サッカーボール4球(中古)
ナイジェリアハウスより寄贈

7. 賞金(女子)
優勝 ¥170,000 ¥47,090
準優勝 ¥80,000 ¥22,160

8. 賞金(男子U15)
優勝 ¥250,000 ¥69,250
準優勝 ¥150,000 ¥41,550
3位 ¥100,000 ¥27,700

9. 優勝チームへの副賞
お米30kg・インドミー1箱・食用油1本
¥26,700×2チーム=¥53,400
¥7,396×2チーム=¥14,792

10. 優勝旗 2旗【女子・男子U15】
¥43,604×2旗=¥87,208
¥314,830
(フセイニカスタム病院ロビー設置)

寄付総額 ¥431,734 (¥1,558,606)
大会運営費 ¥454,715 (¥1,641,568)
A-GOALより大会運営費補助
¥50,000 (¥180,505)
差 額 ¥27,019 (¥97,543)

※ 日本からの渡航費・大会期間中の旅費交通費、通信費など
及び現地TAIYOグループスタッフの旅費交通費等の一部は、
TAIYOグループが負担しております。
※ ¥1 = ¥0.2777 (小数点第五位以下切捨て)

2021.10.25現在

第1回フセイニ病院 x TAIYO Cupが開催されましたこと、おめでとうございます！！

今大会、女子の試合ができたことは、歴史的に本当に素晴らしいことですね！！

ナイジェリアの歴史、慣習をも変えるパワーがおりで、これまでのご活動で花開いたものが、さらに実をつけてきたという感じです。今後の色々な展開が本当に楽しみです。

そして、A-Goalさん、茨城UNICEFさんのお力添えでの配信に、改めてナイジェリアでの取り組みの素晴らしさの表れと感じました。

歴史的な変化をリアルで見られ、感じられたことを私は幸せに感じます😊時代の目撃者、そしてその一端を微力ながら担わせていただいたことに私自身も誇りを持ってこれからも関わらせていただければと思います。

この度は、ボールで地球のハーモニーを奏でるお手伝いをさせて頂き、ありがとうございました。

現地の選手がグラウンドを駆け、ボールを蹴り、その音の波動が地球を覆い共鳴したように感じます。

今大会の一步がサステナブルな活動として、より盛り上がることを祈念しております。

感動をありがとうございました♥

宗教的・社会的な背景の中で、女の子が家のお手伝いの時間をサッカーにあてる機会を作ることが出来たからこそ、大会が実現したことが本当に凄い事だと思いました。

(茨城県ユニセフ協会・A-GOAL連携セミナー：ナイジェリア中継 参加者)

本日は大変お疲れ様でございました。

本日のセミナー拝見させて頂きました。

皆様の素晴らしい活動を拝見し、自分も何か行動を起こしたいと強く感じる事が出来ました。

相良様がお話されていた、「私」から『私たちにする』という言葉がとても印象的で、考え方の参考となりました。

ぜひ皆様の活動をより具体的にお教え頂き、私個人／会社として何か連携出来れば良いなと感じました。

本日は素晴らしいセミナーのご紹介を頂き、誠にありがとうございました。

セミナーの中で印象に残った話はなんですか？

(茨城県ユニセフ協会・A-GOAL連携セミナー：ナイジェリア中継 参加者)

ナイジェリアの子ども達の支援に対応している現地の支援者の話。

女性のスポーツの参加が容易ではなく、今回サッカーの試合に参加出来たことはまだまだ特別なことだというお話を伺って、当たり前のように女性がスポーツに参加できる事を普通に考えていました。もっと女性が参加できる環境になることを願っています。

アフリカ人が楽しそうにサッカーをしているようすをみて、安心しました。

アフリカでは未だに女の子が自由にスポーツが出来ない現実に軽いショックを受けました。

現地の子供たちとスタッフがサッカーを本当に楽しんでいる様子。また彼らが日本に留学できるところまで支援していることなど。

今回は都合が悪くなり参加できず残念でした。見逃し配信などがあると嬉しいです。

日本で当たり前のことが当たり前じゃない国があるという話。

有田 妙 (ありたたえ) <https://lit.link/taearitaturbull#>

dekOboKoまるっと幸せコンサルティング、講演家、ビジュアルクリエイター、Taiyo International財団 サポーター

名越祐子 <https://www.facebook.com/yuko.yamagishinagoshi>

英語通訳者・翻訳者、英語コーチ、リサーチャー、Taiyo International財団 サポーター

星 夕子 https://docs.google.com/document/d/1S0ts_vdcQzgj9CU01ETETKNxXsRvSrJInIabe681nw/edit?usp=sharing

QOL向上コーチ (コンサル)、保健師、日本語教師、Taiyo International財団 サポーター

大勝弓緒 yumion1111@gmail.com

ライフコーチ セルフプロデュース&コンサル、TAIYOラヂオインタビューアー、Taiyo International財団 サポーター

佐伯榮子 <https://gokuraku-eiko.com/>

ミスオブザイヤー広島大会ゴージャス部門グランプリ、ミスオブザイヤー日本大会出場
Taiyo International財団 親善大使

相良優子 <https://linktr.ee/YuukoSagara>

英語講師、心理カウンセラー、TAIYOラヂオMC、
360度コーチング (コンサルティング)

小瀧比呂美 <http://www.taiyo-industry.jp>

TAIYO株式会社 取締役



大会を終えて

第1回 フセイニカスタム病院×TAIYO Cupが無事に終わったことは、開催地であるジガワ州の四王家をはじめとする地域の協力と日本の支援者の協力によるものです。誠にありがとうございます。

この大会の主目的は、「女子の社会進出」でした。イスラム教が多いナイジェリアの北部であるこの地域では、女の子に限らず女性は家の仕事をする事が多く、人前でサッカーをすることなど考えられないことです。TAIYOグループ(Taiyo International財団及びTAIYO株式会社)は、「ぜひ女の子にもサッカーを」と考え、そして当該大会のスローガン【誰もが夢を追いかけられる世界に】を掲げ、大会開催をナイジェリアの重要人物に提案しました。その重要人物が、フセイニカスタム病院のオーナーであるフセイニ家の長兄フセイニ元駐日大使でした。

フセイニ元駐日大使は、現在日本で活躍するナイジェリア人アスリートが来日できるきっかけを作った方です。アスリートの数は6年間で23名におよび、現在は17名が日本で活躍しそのうちの3名がプロ選手になりました。2名がJリーガーで1名がVリーガーです。フセイニ元駐日大使のご尽力によって、ナイジェリアの若きアスリートの活躍の場が日本にも訪れました。

フセイニ元駐日大使の地元でそのことをお祝いし、誰もが夢を追いかけられることをナイジェリアの女の子や男の子に体験してもらうため、TAIYOグループはこの大会をやろうと決めました。

そして、ナイジェリア北部の歴史上初の女子が参加するサッカー大会が開催されました。

大会が順調に進み準決勝を翌日に控えた10月22日(金)の夕方、突然に決勝戦の日程が24日(日)から23日(土)に繰り上げになり、茨城県ユニセフ協会とA-GOALのイベントの台本も大幅に修正するどころかJリーグ公式試合と絡めたLIVE配信も大打撃となる自体に陥りました。繰り上げ日程となった理由は『ジガワ州の4王家の話し合いによるもの』であったことは、異文化を知る上で国際交流をする上で納得する必要があるととても重要なことであると日本側関係者60数名の一致した思いでした。そして23日(土)、女子決勝・男子準決勝 2 試合・男子 3 位決定戦・男子決勝の計5試合が実施され無事に終了し、24日(日)の茨城県ユニセフ協会とA-GOALイベントも関係者のご尽力により盛大に終了しました。このことは、ナイジェリアと日本のスポーツによる国際交流が真に成功した証でした。異文化を理解し両国が歩みよった瞬間でした。

現在男女それぞれの優勝旗はフセイニカスタム病院のロビーに飾られ、ナイジェリアの人々の健康と生活の向上のシンボルになると同時に、女性の社会進出を応援し続けています。

皆さまからいただきましたご寄付は、大会運営費や賞金(寄付)として活用させていただきました。ありがとうございます。そして、これからもナイジェリアにご関心をお寄せいただくとともに、TAIYOグループをご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

Taiyo International財団 理事長
TAIYO株式会社 代表取締役社長

伊藤 政則

ご挨拶（大会MC：優子）



<https://youtu.be/hJoEGbras-I>
(2分58秒)

フセインカスタム病院
×TAIYOカップ



<https://taiyofoundation.org/event/>

財団
Facebook



<https://www.facebook.com/TaiyoInternationalFoundation>

YouTube



<https://www.youtube.com/user/jntaiyo/videos>



TAIYO